回復期リハビリテーション病棟入院料1　実績

2026年10月1日現在

		7月	8月	9月
直近3か月間の退棟患者数 (回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数を超えた患者を含む)		21名	20名	21名
退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳				
患者構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後２か月以内	6名	8名	7名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等２か月以内	13名	8名	8名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後等２か月以内	1名	4名	6名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後１か月以内	1名	0名	0名
	股関節又は膝関節の置換術後１か月以内	0名	0名	0名
	上記に準ずるもの	0	0	0

直近のリハビリテーション実績指数（６か月実績）

前月までの６か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	129
上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数	109
上記の患者の退棟時のＦＩＭ得点（運動項目）から入棟時のＦＩＭ得点（運動項目）を控除したものの総和①	3252
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	64.0
実績指数（①/②）　　基準値：	50.8

算出期間：2026年4月～2026年9月

医療法人財団新生会　大宮共立病院